

大会速報

国労水戸地方本部
第73回定期大会
速報

代議員からの発言より

大会は大賀副委員長の司会で始まり、最重要課題である組織拡大は工夫を出し合い学ぶ大会にと挨拶した。黒澤執行委員から資格審査について大会が成立したことを宣言した。

議長には寺門代議員（土浦地区分会）が選出され、増委員長挨拶、来賓挨拶、国労東日本本部挨拶、運動方針案、予算案、代議員からの質疑討論、書記長集約で、この一年の闘う運動方針が確立した。

寺門議長から、会社の施策が次々と進められ、年休



申し込みなどが管理端末を使い不慣れで不安である。

組織拡大については、コロナ禍であるが、それぞれの工夫した取り組みが必要であると挨拶した。

川島代議員（土浦地区分会）

職場代表選は数名の組合員で各職場を回り社員代表になった。

職場要求については作業ダイヤの変更を若い人と話をしながら休憩時間を変えてきた。

組織拡大は若い人に係わりを持つとうと工夫しながら班とし取り組んできた。今後も、いつでも係わりを持つように取り組んでいく。



高野代議員（水戸地区分会）

昨年、国労に加入した。21年前に東労組に加入したが3年前にストをする話になり脱退にいたった。

若い人達は、国労の知名度が無い。国労って何と理解していない。

水戸線のワンマン化で予備になると収入減になり生

活が大変である。

ダイヤ改正以降、職場が統括する事になり草刈りをやらされ将来不安である。

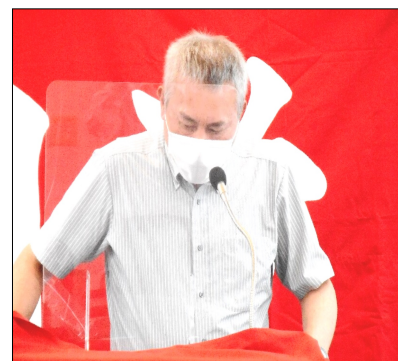


長谷川代議員（土浦地区分会）

MTSの車両基地の信号でプロパー社員が退職し、5人から4人になった。補充も無く、2カ月間は検修スタッフから来て回している。信号専門の人が来てほしい。

来賓挨拶

全交通共済 東日本事業本部長 松井 正義
アベニール株式会社専務取締役 菊池 忠志
国労東日本本部 執行委員長 伊藤 隆夫



皆川代議員（水戸地区分会）

組織強化拡大はコロナ禍で集まりきれていないが、職場の中で係わりを持つとうと引き続き取り組んで行く。今まで短日勤務が取得出来なかったが、団体交渉で、今年7月から改善できた。

工事検修はエルダー社員がメインで行われている。来年65歳で、会社から残つ

てほしいと言われている。
今の条件では残らないと言っている。

来年、機械グループのエリア変更で出向者は水戸に残る意思表示をしているが担務変更もあり得る。

会社は出向者を当てにしていたが改善してほしい。



佐々木代議員（勝田地区分会）

若手は仕事より企画業務に力を入れている。

機関紙を配りながら組合員と係わりを持っている。

声をかけて組織拡大に取り組む。

組合員も減少しているのに組織の見直しをお願いしたい。



坪代議員（大子地区分会）

検査業務が移管され、端末入力が各箇所と違いがあり不具合が発生した。

働き方改革で日中の間合いが行われるが、列車代行が行われない問題がある。

短日勤務を希望しているが人員不足で出来ない。



市井代議員（勝田地区分会）

エルダー社員が退職しても充当がない。研修グループは4名いたが2名なった。回らなければ他から来てもらう。しかし、人がいれば良いというものではない。グループ会社の将来設計をお願いしたい。

65歳以上の再雇用の充実をお願いしたい。



関内代議員（いわき地区分会）

国労フクシマでは、原発事故から10年経つが忘れていいることが多いと感じた。

職場代表者選挙は職場の問題点に係わり、若手の配転に問題があると言う。

事務業務の合理化で年配

者は対応できない。



田山代議員（土浦地区分会）

社員代表選は働きやすい職場を作ることを前面に出し、国労の存在を示してきた。

再雇用で来年数名が退職



になるが出向を希望していない。希望しない出向を示されて断れば退職になるが改善してほしい。

手当、定期昇給、異動に不満を持つ若手社員がいる。

若手社員の声に丁寧な話し込み国労加入につなげていく。

2021年度地方委員

寺門 勝次	(土浦地区分会)
川島 隆浩	(土浦地区分会)
長谷川 直人	(土浦地区分会)
小倉 好勝	(水戸地区分会)
高野 弘二	(水戸地区分会)
皆川 学	(水戸地区分会)
市井 優	(勝田地区分会)
佐々木 栄一	(勝田地区分会)
坪 次夫	(大子地区分会)
門馬 正行	(いわき地区分会)
塚本 研一	(いわき地区分会)
関内 正人	(いわき地区分会)